

マナーキッズ・プログラムと学校経営

北九州市立高見小学校

藤川 一 俊

- ◎ 子どもの体力を大人が身に付けさせようとしているだろうか (時間 空間 仲間)
- ◎ 私たち大人は心のサインを交換しようとしているだろうか (笑顔・歓声・拍手)
- ◎ 私たちは、日々礼儀正しさのよさを味わわせ、その必要感・大切さを感じさせているか
- ◎ 教育の突破口を求めること……上半身の力 マナー

1、本気に生きる子ども・本気を出す子どもを育てているだろうか

教えることと考えさせること……子どもの問題意識
考えさせる素材

2、体を動かして感じさせ、考える子どもを育てているだろうか

机上の教育と実践の教育……できる子ども わかる子ども
成功体験と充実感・達成感から 新しい自分との出会い

3、変化に気付かせ、見る目を育てているだろうか

賢い子どもは変化に敏感……相手や変化に気付き対応できる力
変化を予測する力 比較する力

4、日々の教育の中で「発信と受信」のバランスを保っているだろうか

子どもの実態・真実を理解することから……誤診・誤信
教師主体の授業と子ども任せの授業

5、子どもは認められ、相手を信頼して快いときに成長するのではないか

マナーキッズの指導者の方々の人間力……社会的賢さに学ぶ
長所を褒めて伸ばす

6、「なぜ、できないのか」「なぜ、できるのか」を知的追求させているか。

違いがわかる子ども

7、挨拶・マナーのつぎに教えることは